

# 11月佐藤訪米実力阻止に向け怒濤の進撃を!

# 怒濤

第11号  
2頁 20円

発行所  
東京都港区赤坂  
2-11-2 日野ビル  
怒濤社  
電話(03)2333112  
郵政番号147121  
編集人 中川 義  
20頁400円(送料別)

●世界革命の旗の下、万国の労働者団結せよ!  
●民族防衛主義、議会主義を打破し、安保条約被棄、サンフランシスコ条約第三條被棄、米軍基地撤去を闘いとれ!  
●労働者共産主義委員会

1  
佐藤首相の訪米は、米軍基地撤去の要求を無視し、安保条約の延長を目的とする。これは、日本の主権を侵害し、労働者の権利を踏みにじる行為である。我々は、この行為を強く非難し、佐藤首相の訪米を阻止するために、怒濤の進撃を遂行する。

2  
佐藤首相の訪米は、米軍基地撤去の要求を無視し、安保条約の延長を目的とする。これは、日本の主権を侵害し、労働者の権利を踏みにじる行為である。我々は、この行為を強く非難し、佐藤首相の訪米を阻止するために、怒濤の進撃を遂行する。

3  
佐藤首相の訪米は、米軍基地撤去の要求を無視し、安保条約の延長を目的とする。これは、日本の主権を侵害し、労働者の権利を踏みにじる行為である。我々は、この行為を強く非難し、佐藤首相の訪米を阻止するために、怒濤の進撃を遂行する。

4  
佐藤首相の訪米は、米軍基地撤去の要求を無視し、安保条約の延長を目的とする。これは、日本の主権を侵害し、労働者の権利を踏みにじる行為である。我々は、この行為を強く非難し、佐藤首相の訪米を阻止するために、怒濤の進撃を遂行する。

## 沖繩闘争の革命的 前進のために

はじめに  
沖繩闘争は、日本の主権を回復し、労働者の権利を守るための革命的な闘争である。我々は、この闘争を前進させるために、怒濤の進撃を遂行する。

一 沖繩返還論の内実  
沖繩返還論は、米軍基地撤去の要求を無視し、安保条約の延長を目的とする。これは、日本の主権を侵害し、労働者の権利を踏みにじる行為である。我々は、この行為を強く非難し、佐藤首相の訪米を阻止するために、怒濤の進撃を遂行する。

二 「真の祖国復帰」奪還論の反動性  
「真の祖国復帰」奪還論は、日本の主権を回復し、労働者の権利を守るための革命的な闘争である。我々は、この闘争を前進させるために、怒濤の進撃を遂行する。

三 沖繩人民の解放—祖国復帰のマヤカシ  
沖繩人民の解放は、日本の主権を回復し、労働者の権利を守るための革命的な闘争である。我々は、この闘争を前進させるために、怒濤の進撃を遂行する。

四 日帝打倒・米軍政打倒  
日帝打倒・米軍政打倒は、日本の主権を回復し、労働者の権利を守るための革命的な闘争である。我々は、この闘争を前進させるために、怒濤の進撃を遂行する。

# 革命的労働者の任務

労共委・労働部

上

## 安邦方針の破綻と 混迷する総評指導部

「安邦」の破綻は、労働運動の現状を決定づけた。総評指導部は、この破綻を混迷するに至り、労働者の任務を明確に示すことが出来ず、結果として労働運動の停滞を招いた。この停滞は、労働者の利益を損ない、社会の安定を脅かすものである。労働者は、この現状を打破し、革命的な行動を遂げるべきである。

労働運動の現状は、安邦方針の破綻によって深刻な危機に陥っている。総評指導部は、この危機を混迷するに至り、労働者の任務を明確に示すことが出来ず、結果として労働運動の停滞を招いた。この停滞は、労働者の利益を損ない、社会の安定を脅かすものである。労働者は、この現状を打破し、革命的な行動を遂げるべきである。

## 命題化の進行と 後退する労働戦線

労働戦線は、命題化の進行によって後退している。労働者の利益を代表する立場から、労働戦線は後退し、労働者の利益を損なっている。労働者は、この後退を食い止めるために、革命的な行動を遂げるべきである。

労働戦線は、命題化の進行によって後退している。労働者の利益を代表する立場から、労働戦線は後退し、労働者の利益を損なっている。労働者は、この後退を食い止めるために、革命的な行動を遂げるべきである。

## 現代中国と文化大革命 (上)

河村勉

### 序章

現代中国は、文化大革命の嵐に包まれている。この大革命は、中国の歴史を塗り替えるほどの規模を誇っている。労働者は、この大革命の中で、自らの利益を追求し、社会の進歩に貢献するべきである。

現代中国は、文化大革命の嵐に包まれている。この大革命は、中国の歴史を塗り替えるほどの規模を誇っている。労働者は、この大革命の中で、自らの利益を追求し、社会の進歩に貢献するべきである。

### 第一章 中国革命の性格

中国革命の性格は、革命的である。労働者は、この革命的な性格を認識し、自らの行動に反映させるべきである。労働運動は、中国革命の重要な一部であり、労働者は、この革命を成功させるために奮闘するべきである。

中国革命の性格は、革命的である。労働者は、この革命的な性格を認識し、自らの行動に反映させるべきである。労働運動は、中国革命の重要な一部であり、労働者は、この革命を成功させるために奮闘するべきである。

### 第二章 「過渡期」の混迷

「過渡期」は、労働運動にとって混迷の時期である。労働者は、この混迷を打破し、自らの利益を追求するべきである。労働運動は、この過渡期を通じて、自らの力を鍛え、社会の進歩に貢献するべきである。

「過渡期」は、労働運動にとって混迷の時期である。労働者は、この混迷を打破し、自らの利益を追求するべきである。労働運動は、この過渡期を通じて、自らの力を鍛え、社会の進歩に貢献するべきである。

労働運動の現状は、過渡期の混迷によって深刻な危機に陥っている。労働者は、この危機を打破し、自らの利益を追求するべきである。労働運動は、この過渡期を通じて、自らの力を鍛え、社会の進歩に貢献するべきである。

労働運動の現状は、過渡期の混迷によって深刻な危機に陥っている。労働者は、この危機を打破し、自らの利益を追求するべきである。労働運動は、この過渡期を通じて、自らの力を鍛え、社会の進歩に貢献するべきである。